

岸良学園 稲作体験

岸良学園の特色ある活動の一つとして稲作体験活動があります。4月14日(水)に活動のスタートとして田植えを実施しました。3年～6年生(小学生)は学校のミニ田んぼで手植え、7年～9年生(中学生)は学校近くの休耕田で機械植えを体験しました。

苗や田んぼは、JAきもつきや岸良環境保全会から提供していただき、少し肌寒い天気の中、保護者や環境保全会の方々の協力のもと、無事に植えることができました。

収穫は8月の予定で、もち米は販売を計画しています。子供たちは一連の活動を通して、多くのことを学んでくれると思います。



国見小学校 青少年赤十字登録式

4月9日(金)、青少年赤十字登録式を行いました。青少年赤十字の出水澤さんに登録署名を渡し、バッジの授与を受けました。その後、全校児童で誓いのことばを朗読し、赤十字の歌「空は世界へ」を斉唱しました。出水澤さんの講話では、思いやりの心をもって協力することの大切さを学びました。本校では毎朝、5・6年生を中心にボランティア活動を行っています。どこが汚れていて、どのように掃除をすればよいかを一人一人が考えて行動しています。まさに、青少年赤十字の「気づき・考え・実行する」の精神が子どもたちに根付いている証です。



学校ニュース school news

地域産業(畜産)リモート講座

4月13日(火)に宮富小学校、国見小学校、国見中学校、波野小学校、内之浦小学校で地域産業(畜産)リモート講座が行われました。子どもたちは、テレビ会議システムを通して牛の品評会を鑑賞したあと、事前に配布されていた資料を見ながら、生産者の話を聞いたり質問をしたりしました。また、国見中学校では、リモート講座の後に、江口一男さんによる特別講座が行われました。

質問コーナーでは、「肝付町の畜産はいつぐらいから有名になったのか」「牛を育てる中で一番大切なことは何か」といった質問がされるなど、楽しく畜産のことについて学ぶことができました。

コロナ禍の中でも、リモート講座を通して地元の産業を学び、興味をもつことができたと思います。子どもたちから将来の畜産家が出てくることを楽しみにしています。



▲ 国見中学校で特別講座をする江口一男さん



▲ リモート講座を受けている様子



▲ 会場から子どもたちの質問に答える田代淳平さん